

日付	時間	活動内容 & 場所
4月20日 (月)	9:35 到着 12:00~13:00 14:00~17:00	空港からホテルへ 昼食&オリエンテーション 伊東いね子先生の講義・質疑応答
4月21日 (火)	9:30 集合 10:00 バスで移動	12:00 長瀬あゆみ先生と昼食 13:30 Dr Judy Radloff「保育園幼稚園のカリキュラムと発達」授業体験 14:00 大学内見学(図書館等) 15:00 Children's School 見学説明・質疑応答
4月22日 (水)	10:00 集合 10:20 Muni で移動 13:00 バスで移動	10:30 Safe and sound 説明見学・質疑応答 14:00 Asian Women's Shelter 説明・質疑応答
4月23日 (木)	8:30 集合 Uber で移動 13:00 直井先生の車で移動	9:45 シカモア幼稚園 見学・意見交換 14:00 Friends of Children with Special Needs 説明・見学・質疑応答
4月24日 (金)	8:45 集合 Bart で移動 12:00 Bart で移動	10:00 Through the looking glass 説明見学・質疑応答 14:00 本間玲子先生の講義・質疑応答 16:00 謝恩会

4月20日(月)

13:00～ 到着・オリエンテーション

15:00～ 伊東いね子先生の講義・質疑応答

「Regional Center of the East Bay」について

伊東いね子先生より、Regional Center of the East Bay での支援を中心に、カリフォルニア州における発達障害者支援についての講義を受けました。地域社会で自立した生活を送るインクルージョンの理念に基づき、その人がお客さんにならないで地域に溶け込めることを目指して支援を行っているという言葉が印象的でした。地域共生社会を目指していく日本にとって、アメリカが行ってきた支援を知り、活かしていきたいと感じました。



↑ 52期生と伊東いね子先生

4月21日(火)

12:00～ ソノマ州立大学 長瀬あゆみ先生と

↓ 大学図書館も見学させて貰いました。



ピーナッツの作者シュルツ氏がソノマ州立大学へ寄付されたそうで原画の展示がありました。

13:30～ Dr.Judy Radloff「保育園幼稚園のカリキュラムと発達」授業訪問

15:00～ Children's school 学校見学

ソノマ州立大学では、長瀬先生のご案内にて大学の授業に入らせて貰い、また大学内にある Children's school を見学させて頂きました。授業は言語の発達支援について聞き、見学した Children's school での幼児教育にも繋がっており、多様な民族の方がおられる中で、言語や文化が違っても、学びをどのように伝えられるか、発達だけを考えるのではなく、言語や文化を尊重し、共に学びあっているよう行う姿勢は、私にとっても大きな学びとなりました。



↑ こども達の作品。絵だけでなく、こどもが発したストーリーを一緒に文字にして、言語の学びに繋がっているそうです。

4月22日(水)

12:00～ Safe and Saund MS. Gagan Sandhu 説明見学



Safe & Saund は、家族支援についてトラウマや発達課題を持つ子ども達へのアプローチだけでなく、家族へアプローチし、そのため確立したアプローチ方法と他機関との連携、地域の理解や機関の活動が続いていけるように、資金調達の活動を行うなど、利用者のために行っていくという意思と熱意を持って行われ、お話下さる姿が印象的でした。

←Safe & Saund の歴史

14:00～ Asian Women's Shelter 富田のぶよさん

Asian Women's Shelter では、DV 被害を受けたシェルター機能だけでなく、移民女性の言語の違うしんどさ、文化的背景に配慮した丁寧な関わりが行われていました。待つだけでなく、アプローチを行う、根源を改善していくという思いを、私も日本の支援で活かしていきたいと感じました。



4月23日(木)

9:45～ シカモア幼稚園見学 木下よしみ先生

シカモア幼稚園では、日系コミュニティを支えるだけでなく、地域に支えられた歴史的背景がありました。築かれてきた人達がいたことで支えられ自分らしくいられると話された言葉に、支援とは一方的でなく、相互に支えあえる形や思いがあることが共生社会なのだと感じました。

木下先生のお話には幼児教育だけでなく、家族を支える思いやりの言葉がたくさんありました。

お話とアイデアを本当にありがとうございました。



14:00～ Friends of Children with Special Needs (FCSN) 見学



FCSN は、特別支援を必要とする子とその家族を支えるサポート機関で、スタッフの方自身も家族が Special Needs の子がいる方もたくさんおられました。支援とは、与えられる・提供するものではなく、一緒に行くことなので、ご家族が一緒に行い、みんなコミットすると話されていました。幸せで安全なことが学びを促すと話され、子どもたちの姿を誇らしく語る笑顔が忘れられません。

4月24日（金）

10:00～ Through the looking glass Ms.Megan 西澤奈穂子先生

TLG では設立当時から支援と並行して、長年に渡り研究が行われていました。家族への支援、こども達への早期介入支援の必要を感じて支援だけでなく研究実績に基づく、政府へのアプローチを続け、常に利用者にとって必要なことに動き、多様化する社会の中で、予防的な働きかけを重視し実践されています。予防の大切さを日々実感していた私にとって、Megan 先生のお話やその姿勢には深く心を動かされ、今後の自分の実践にも取り入れていきたいと感じました。



←エド・ロバーツキャンパスの中にあります。

15:00～ 本間玲子先生「アメリカの児童ケア」

本間玲子先生から、アメリカ、特にカリフォルニア州でどのように児童ケアが行われ、どのように変化してきたのかを深く学ぶことができました。日本との歴史・文化・社会の違いを交えながらお話を伺う中で、制度やサービスの違いに多くの発見がありました。こどもを守るための虐待通告義務が徹底されている点は特に印象的で、日本でできることは何かを考える機会となりました。本間先生、直井先生、和田先生から「日本の未来は明るいね」と温かい励ましをいただき、とても嬉しく、今後の研修に向けて背中を押された思いでした。



たくさんの方に教えていただき、助けていただき、ご縁をいただいた5日間でした。

これからの個人研修、今後の実践に向けて活かしていけるように、がんばります！

文化の研修！

たくさんの方のサンフランシスコ文化にも触れることができました。

本当にありがとうございます。

